

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 1月 30日

公表: 令和 6年 2月 15日

事業所名 チャイルドハート小城

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・児童発達支援と放課後デイで人数が分散するように利用調整している。活動スペースを分けている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	・教員免許、保育士、公認心理士、看護師と幅広い資格者が在籍している。現状問題はない。	・あと一人児童指導員を配置したいと考えている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	・クールダウンできる個室を用意している。	・テナントのため、スロープやエレベーターの設置が不可能。今のところ車椅子を使われるご利用者様は在籍されていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・毎日事業所内の清掃を実施している。	・今後も常に清潔で心地よい空間を提供できるように努力したい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・実績目標や支援目標を定め、運営している。	・今後も目標達成に向けて全職員同じベクトルで業務に励みたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・毎年、保護者様アンケートを実施している。	・今後も必ず毎年実施していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・毎年、保護者様アンケートを実施し、HP上に公開している。	・今後も必ず毎年実施していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	・実施していない。	・外部からの第三者評価は実施していないが、チャイルドハート本部から定期的に運営や経営、支援に関する助言をいただいている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・毎月事業所内ミーティングを行い、虐待や防災などの研修も年に数回実施している。姉妹店での合同研修も実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・3~6か月に一回アセスメントを取り、計画を作成している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。必要に応じて回数を増やしてもいい。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・利用者様に合わせて絵表示やタイマー、スケジュールを使用している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。成長段階に合わせて適宜変更していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・スタッフと児発管が定期的にアセスメントを取り、その子に合った計画や目標を設定するよう意識している。	・児発管を中心にスタッフ間でも情報共有を行い、計画を作成していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・毎回ご利用時は計画を確認しながら支援を行っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・一人ではなく、全員で意見を出し合っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。常に新しいイベントを模索していきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・季節のイベントや外出活動など、マンネリ化しないよう定期的に新しいイベントや外出予定を計画している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。楽しんでもらえる活動を考えていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・個別の活動の他に、集団での外出イベントや制作活動も導入している。	・活動レベルや児童様同士の関係性も考慮していきたい。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・毎朝、全員でミーティングを実施している。必ずしもそうならない場合もあるが、臨機応変に対応している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・児童様送迎後、全員でその日の振り返りと次の日の予定の確認を行っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・毎日その日のうちに、その日の活動内容やご様子を記録に記載している。児発管記録も書いている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・3～6か月間一回アセスメントを取り、計画を作成している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。抜けが無いように気を付けていきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児発管だけでなく、日頃支援に携わっている現場スタッフも同行するようにしている。同性スタッフが参加することもある。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	5	・あまり出来ていない。定期的に情報収集はしている。	・今後、市の職員の方や機関とも連携を図っていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	・医療的ケアの受け入れは行っていない。	・スタッフの人数、施設の設備の関係で今後も受け入れは難しいと考える。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	・医療的ケアの受け入れは行っていない。	・スタッフの人数、施設の設備の関係で今後も受け入れは難しいと考える。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・児発から放デイに上がる児童様は事前に関係機関、保護者様、相談支援専門員様と支援会議を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・転校される児童様は事前に関係機関、保護者様、相談支援専門員様と支援会議を実施している。送迎時には担当の先生と引き渡し、情報共有を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・近隣事業所と連携し、事業所見学や意見交換会を定期的に実施している。	・今でも年に数回は連絡を取り、情報共有を実施しているが、今後は頻度を増やしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	・あまり実施していない。公園や外出先で触れ合う事は種にある。	・現状、実施していないので今後検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	・中部地区の連絡協議会に所属している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。今後は頻度を増やしていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・毎回ご利用後に連絡帳や送迎時に活動内容の報告や、情報共有を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。真摯に丁寧を実施していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・保護者様から相談等があった際は真摯に迅速に対応している。声掛けの仕方などをお伝えしている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。スタッフの知識もグレードアップさせたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・毎回、契約時に必ず細やかに説明している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。曖昧な回答をしないよう意識したい。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・モニタリングに必ず保護者様に計画の説明を行い、同意を得ている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。保護者様の要望があれば今後も必要に応じて書き換えなどにも対応していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・保護者様から相談等があった際は真摯に迅速に対応している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。すぐに助言が出来るよう日頃から勉強をしておく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・年に数回、保護者会を開催している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。色々なテーマで実施したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者様から相談等があった際は真摯に迅速に対応している。利用日の変更や調整も実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・毎月、広報を作成し、その他にもブログやインスタグラムを更新し、児童様の活動の様子をお伝えしている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。更新頻度も増やしていきたい。

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・鍵付きの書庫で厳重に保管している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・配慮を行っている。声掛けを増やしたり、表示方法を工夫している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	・あまり出来ていない。出来ていない。	・現状、ほとんど実施できていないので今後は導入を検討していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・各マニュアルを作成し、スタッフ間で共有している。有事を想定した訓練や実演も定期的実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。新しいスタッフにも必ず周知をしていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・各マニュアルを作成し、スタッフ間で共有している。訓練は年に二回実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・保護者様と徹的に服薬内容を確認し、処方箋のコピーも保管している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。新しいスタッフにも必ず周知をしていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・全員のアレルギーの有無を把握し、退所の食べ物は絶対に提供しないように注意している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。新しいスタッフにも必ず周知をしていく。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・毎回必ず作成し、スタッフ間で共有し、再発防止に繋げている。保護者様にも確認をさせていただいている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。再発防止を徹底する。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・年に4回アンケートを実施し、研修も年に二回実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。全員研修を受けられるように手配する。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・身体拘束はしなくともいい支援を実施している。事業所内の施設だけは事前に保護者様に了承を得ている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 1月 30日

公表: 令和 6年 2月 15日

事業所名 チャイルドハート小城

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・児童発達支援と放課後デイで人数が分散するように利用調整している。活動スペースを分けている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	・教員免許、保育士、公認心理士、看護師と幅広い資格者が在籍している。現状問題はない。	・あと一人児童指導員を配置したいと考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	・クールダウンできる個室を用意している。	・テナントのため、スロープやエレベーターの設置が不可能。今のところ車椅子を借りられるご利用者様は在籍されていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・実績目標や支援目標を定め、運営している。	・今後も目標達成に向けて全職員同じベクトルで業務に励みたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・毎年、保護者様アンケートを実施している。	・今後も必ず毎年実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・毎年、保護者様アンケートを実施し、HP上に公開している。	・今後も必ず毎年実施していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	・実施していない。	・外部からの第三者評価は実施していないが、チャイルドハート本部から定期的に運営や経営、支援に関する助言をいただいている。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・毎月事業所内ミーティングを行い、虐待や防災などの研修も年に数回実施している。姉妹店での合同研修も実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・3~6か月に一回アセスメントを取り、計画を作成している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。必要に応じて回数を増やしてもいい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・利用者様にに合わせて絵表示やタイマー、スケジュールを使用している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。成長段階に合わせて適宜変更していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・一人ではなく、全員で意見を出し合っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。常に新しいイベントを模索していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・季節のイベントや外出活動など、マンネリ化しないよう定期的に新しいイベントや外出予定を計画している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。楽しんでもらえる活動を考えていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	・平日は短時間でも実施可能な活動を。長期休みも長期休みならではの活動を組み込んでいる。	・今後も継続して取り組んでいきたい。楽しんでもらえる活動を考えていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・個別の活動の他に、集団での外出イベントや制作活動も導入している。	・活動レベルや児童様同士の関係性も考慮していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・毎朝、全員でミーティングを実施している。必ずしもそうならない場合もあるが、臨機応変に対応している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・児童様送迎後、全員でその日の振り返りと次の日の予定の確認を行っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・毎日その日のうちに、その日の活動内容や様子を記録に記載している。児発管記録も書いている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・3～6か月に一回アセスメントを取り、計画を作成している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。抜けが無いように気を付けていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	・単発的な活動にならないよう、様々な活動を組み合わせている。	・今後も楽しんでいただける活動を計画していきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児発管だけでなく、日頃支援に携わっている現場スタッフも同行するようにしている。同性スタッフが参加することもある。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	・毎回のお迎え時に正確な引き渡しと情報共有を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	・医療的ケア児の受け入れは行っていない。	・スタッフの人数、施設設備の関係で今後も受け入れは難しいと考える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	・児発から放デイに上がる児童様は事前に関係機関、保護者様、相談支援専門員様と支援会議を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	・就労に上げられる児童様は事前に関係機関、保護者様、相談支援専門員様と支援会議を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・近隣事業所と連携し、事業所見学や意見交換会を定期的に実施している。	・今でも年に数回は連絡を取り、情報共有を実施しているが、今後は頻度を増やしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	・あまり実施していない。公園や外出先で触れ合う事は稀にある。	・現状、実施していないので今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	・中部地区の連絡協議会に所属している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。今後は頻度を増やしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・毎回のご利用後に連絡帳や送迎時に活動内容の報告や、情報共有を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。真摯に丁寧に対応していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	・保護者様から相談等があった際は真摯に迅速に対応している。声掛けの仕方などをお伝えしている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。スタッフの知識もグレードアップさせたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・毎回、契約時に必ず細やかに説明している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。曖昧な回答をしないよう意識したい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・保護者様から相談等があった際は真摯に迅速に対応している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。すぐに助言が出来るよう日頃から勉強をしておく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・年に数回、保護者会を開催している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。色々なテーマで実施したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・今のところ苦情等はないが、窓口と責任者を分けて、真摯に対応出来る体制を作っている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・毎月、広報を作成し、その他にもブログやInstagramを更新し、児童様の活動の様子をお伝えしている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。更新頻度も増やしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	・鍵付きの書庫で厳重に保管している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・配慮を行っている。声掛けを増やしたり、表示方法を工夫している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	・あまり出来ていない。	・現状、ほとんど実施できていないので今後は導入を検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	・各マニュアルを作成し、スタッフ間で共有している。有事を想定した訓練や実演も定期的を実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。新しいスタッフにも必ず周知をしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・各マニュアルを作成し、スタッフ間で共有している。訓練は年に二回実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・年に4回アンケートを実施し、研修も年に二回実施している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。全員研修を受けられるように手配する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	・身体拘束はしなくていい支援を実施している。事業所内の施設だけは事前に保護者様に了承を得ている。	・今後も継続して取り組んでいきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・全員のアレルギーの有無を把握し、退所の食べ物は絶対に提供しないように注意している。	・今後も継続して取り組んでいきたい。新しいスタッフにも必ず周知をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・毎回必ず作成し、スタッフ間で共有し、再発防止に繋げている。保護者様にも確認をしていたい。	・今後も継続して取り組んでいきたい。再発防止を徹底する。